

宇宙産業振興のための法政策

Legal policy for Evolving Space Industry

青山学院大学 准教授

Aoyama Gakuin University Associate Professor

重田 麻紀子 (Makiko, SHIGETA)

2016/03/02

研究会の経緯・メンバー

- 2013年度～2014年度 「宇宙産業を促進するための法政策研究会」（計8回、各2時間）
- 2015年度 「宇宙産業におけるダウンストリームと法制度研究会」（計2回、各2時間）

■ 委員(member)

小塚 荘一郎 教授(学習院大学):主査

青木 節子 教授(慶應義塾大学)、平井 昭光 弁護士(レックスウェル法律事務所)、重田

■ オブザーバー

笹岡 愛美 准教授(横浜国立大学)、北村 尚弘 弁護士(センチュリー法律事務所)、JAXA 総務部法務・コンプライアンス課、新事業促進部、科学推進部、調査国際部など

研究会の目的・問題意識

- 宇宙産業の振興・伸展に資する法制度上の支援策の検証 (development of space industry)
 - 特に知財分野 e.g. 宇宙機関から民間への技術移転 (technology transfer)
- 民間宇宙ビジネスの振興・育成のために民間事業者に対する有効な支援策の検討 (incubation of private space business)
 - 宇宙企業の経営・技術管理 (corporate governance, technological management)
 - 宇宙企業の資金調達スキーム (finance)

視点の整理 (reorganize viewpoints)

■ 大企業

big businesses

■ ベンチャー・新興企業

venture businesses

■ 中小企業

small businesses

■ 事業活動

Governance

■ 資金調達

Finance

■ 事業内容

Business



➔ 企業類型ごとに宇宙ビジネス展開上の
課題を検証・検討

研究会でのテーマ

| | 開催日 | テーマ research subject |
|---|-----------|---|
| ⑥ | 2013/4/23 | U.S.& U.K.法制調査の報告 |
| ① | 2013/6/21 | 宇宙活動法「中間とりまとめ」の再検討 |
| | 2013/6/3 | ロシアにおける宇宙産業化の現状（意見交換） |
| | 2013/8/23 | ESAにおける知財移転（ヒアリング） |
| ② | 2013/8/29 | わが国におけるTLO（日本版バイ＝ドール法）の現状 JAXAにおける知財ポリシー |
| ③ | 2014/2/6 | 起業の法律問題 |
| ④ | 2014/3/18 | 宇宙ベンチャー輩出に向けて |

研究会でのテーマ

| | 開催日 | テーマ |
|---|-----------|--|
| ⑤ | 2014/9/5 | 大規模リスク事業とコーポレート・ガバナンス |
| ⑥ | 2015/1/15 | 宇宙産業のバリューチェーン |
| ⑦ | 2015/3/26 | 英国の宇宙産業支援に関する調査報告 |
| ⑧ | 2015/11/5 | 先端技術型ベンチャーにおけるガバナンス |
| ⑨ | 2016/2/18 | 万国海法会における北極海航路をめぐる検討について 北極海リモートセンシングの現状並びに北極海航路への利用展開の意義 |

研究の視点と各テーマとの関係性

| | 資金調達Finance | 事業運営Governance | 事業活動Business |
|---------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------|
| 大企業 | | ⑤ 大規模リスク事業と コーポレート・ガバナンス | |
| ベンチャー 新興企業 | ④ 宇宙ベンチャー輩出に向けて | ① U.S. & U.K. 法制調査報告 | ⑥ 宇宙産業のバリューチェーン |
| 中小企業 | | ③ 起業の法律問題 | ⑦ 英国の宇宙産業支援に関する調査報告 |
| | ② わが国におけるTLOの現状/JAXAにおける知財ポリシー | ⑧ 先端技術型ベンチャーにおけるガバナンス | ⑨ 北極海航路とリモートセンシング |

企業類型別の展開・リスク

■ 大企業 big businesses

宇宙機関からの技術移転、大規模宇宙ビジネス→事業・経営者リスク(management risk)

■ ベンチャー・新興企業 venture businesses

宇宙機関と独立したビジネス展開、宇宙機関からの人材移転→技術者(engineer)の秘密保持(NDA)・競業避止 (Non-Competition) 義務への抵触

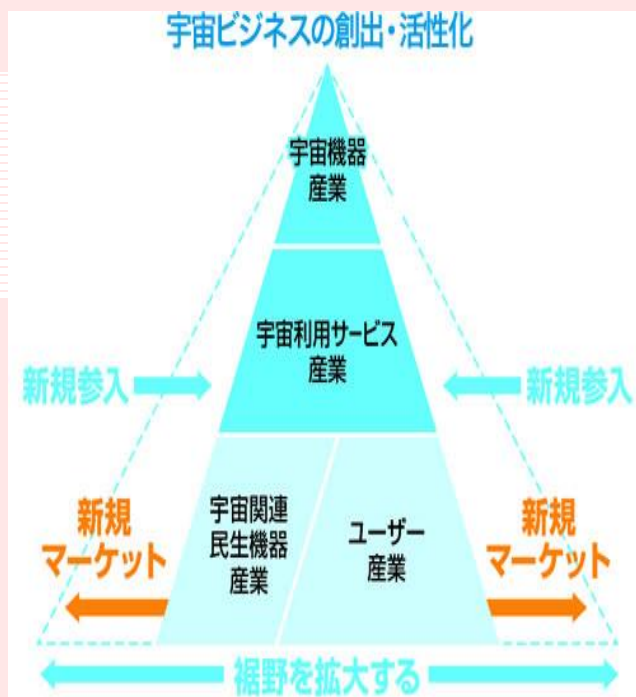
資金調達→VC、個人投資家(angel)との付き合い方

■ 中小企業 small businesses

スピンオフ(spin-off) →宇宙技術の民生化の壁

宇宙産業のブレイクスルー①

- 宇宙産業全体(裾野から)の底上げとベンチャー等による新規参入(new entries)促進



出典: <http://aerospacebiz.jaxa.jp/jp/about/outline.html>

特に技術者(宇宙機関、大企業)による起業(Engineer entrepreneurs)

- ・人材の流動化
- ・技術管理・戦略(technical management and strategy)
開発主体、技術移転当事者
- ・技術者のmind setの転換
投資家マインドの理解

宇宙産業のブレイクスルー②

■ 非宇宙産業からの参入を促進

宇宙産業のバリューチェーン(value chain)における

「つなぎ」役 (coordinator) となるプレイヤーの出現

「目利き」による仲介

・・・誰が？ e.g.宇宙機関＋民間事業経験者←宇宙機関からの人材移転

→継続的コミュニティの形成(community formation)

■ 取締規制の緩和(deregulation)、特区(Special Zone)活用

Cf) 航空機産業の発展：規制緩和と関連サービス業の発達

今後の宇宙産業促進法制の検討に向けて

- ビジネスの一般法（民商）に還元させる思考をベースとしながら、宇宙産業・ビジネスに固有の課題を抽出し必要な規制緩和・法整備作業を進めていくべきである

→宇宙ビジネスの展開を待つのではなく、法の枠組みを事前に提供（予見可能性を持たせる）

→そのためにはビジネスの実際の理解も必要

（宇宙）ベンチャー成功モデル、米州法施策や新興宇宙活動国の法制の（再）検証などもこれからの検討課題と思われる